

「第4回村岡公民館再整備建設検討委員会」 の開催結果について(お知らせ)

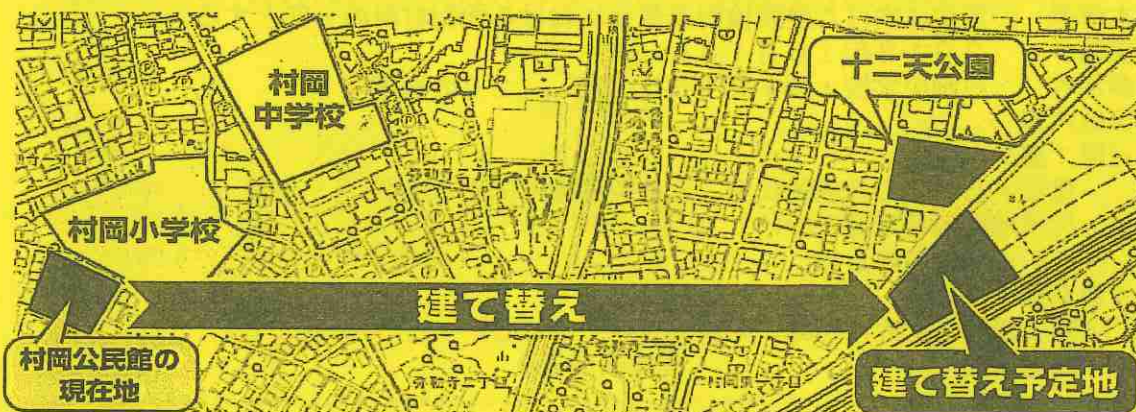
第4回村岡公民館再整備建設検討委員会を開催いたしましたので、結果について皆様にお知らせいたします。

<再整備計画について>

藤沢市では、老朽化や利用施設のスペース不足等への対応のため、村岡公民館を下図の場所に移転し、建て替えることを計画しています。

スケジュール

| 年度 | H30 | H31 | H32 | H33以降 |
|------|------|------|------|-------|
| 実施内容 | 基本構想 | 基本設計 | 実施設計 | 着工 |



【開催概要】

- 日時 2018年8月30日(木)
- 議題 (1) ワークショップの実施結果について ※7/28開催
 (2) 中学生によるワークショップの開催について ※10/10日予定
 (3) アンケートの実施について
 (4) 新施設整備の基本方針等について

【議事の内容】

1 ワークショップの実施結果について

- 実施目的** 子育て世代などの意見を引き出し、「村岡公民館再整備基本構想」の策定に向けた建設検討委員会における検討材料とする。
- 実施日時** 2018年7月28日(土)
- 参加人数** 15人(男性2人、女性13人/30代6人、40代7人、50代2人)
- 実施方法** 参加者を3つのグループに分け、参加者全員に新たな公民館に求めることなどを書き出してもらい、グループごとにまとめて発表してもらいました。

＜ワークショップにおける主なご意見＞

- 乳幼児連れの来館者の利便性を考慮した授乳室等の整備や、子どもが安心して遊ぶことができる場所の整備等、乳幼児及び子どもにとって居心地が良い施設とすること。
 - 既存施設に段差が多く、トイレ等の設備が不十分である等の背景から、新施設はバリアフリーへの配慮等、誰でも利用しやすい施設とすること。
 - 既存施設の駐車場は不十分であり、これまでよりもさらに藤沢駅から離れた位置に計画されることから、駐車・駐輪台数の増加やアクセス方法としてバス停の整備など、アクセスをやすくすること。
- ※ その他、運動できる場所や、気軽に利用でき飲食できる空間等、既存施設にはない新たな機能に関する事などがありました。

2 中学生によるワークショップの開催について

◆ 実施目的

将来を担う中学生から村岡地区の将来像についての意見を引き出し、「村岡公民館再整備基本構想」の策定に向けた建設検討委員会における検討材料の一部とする。

◆ 実施日 2018年10月10日(水)

◆ 参加者 村岡中学校・藤ヶ岡中学校生徒 20名程度

◆ 実施内容

＜第1部＞

- ・建設する地域の地理的状況、立地条件等に関する説明
- ・村岡地区の将来像について
- ・グループ作業まとめ

＜第2部＞

- ・第1部でまとめた内容の発表(グループごと)
- ・意見交換

3 住民・利用サークルへのアンケートの実施について

(1) 村岡地区の住民に向けたアンケートの実施概要及び設問項目について

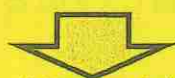
- ◆ 実施期間 9月10日(月)～9月25日(火)
- ◆ 調査対象 住民基本台帳をもとに、15歳以上を対象に3,000人を無作為に抽出する。
- ◆ 設問項目 1.ご自身のことについて(性別、年齢、職業、お住いの地区)
2.公民館の利用について(利用頻度・曜日・時間帯、主目的等)
3.新しい公民館に望むことについて(重要視する機能、希望する施設・設備、新しい公民館への主な交通手段)

(2) 村岡公民館利用サークルにむけたアンケートの実施概要及び設問項目について

- ◆ 実施期間 9月3日(月)～9月25日(火)
- ◆ 調査対象 公民館利用サークル130団体(各サークルに5枚配布し、個人が記入)
- ◆ 設問項目 1.公民館の利用について(活動方法、利用頻度・曜日・時間帯等)
2.新しい公民館に望むことについて(希望する施設・設備、新しい公民館への主な交通手段)

- 4 新施設整備の基本方針等について
事務局より次のような案をたたき台としてお示しし、各委員からご意見をいただきました。

基本構想の重点ポイント（イメージ）



《基本理念》

※ワークショップのグループテーマを参考としたもの

- 例① 安心・安全で明るい公民館
- 例② 誰でも気軽に安心安全で明るい施設 ～地域で見守る公民館～
- 例③ みんなの公民館

《基本方針》

1 明るく居心地が良い人々が集う施設

- ・明るく開放的な雰囲気施設の施設とし、人々の活発な利用や積極的なコミュニケーションを促す施設とします。
- ・地域住民が自ら各種イベントやサークルを企画することができるような施設とします。

2 まなぶ機会を提供できる施設

- ・利用者が集中して学習や活動のできる施設とします。
- ・村岡の歴史や文化を継承できる場を設けることで、村岡のことを学ぶことのできる施設とします。

3 情報を集約・発信し、人と人をむすぶ施設

- ・サークル活動や地域の情報を集約・発信し、利用者自らも発信することができる機能を有する施設とします。
- ・気軽に利用でき、交流できる空間を整備することで、人と人がつながる施設とします。

4 すべての人に使いやすく、災害時の拠点となる安心できる施設

- ・ユニバーサルデザインを取り入れた計画とし、子どもや高齢者、または障がい者にとっても利用しやすい施設とします。
- ・大地震や洪水のような災害時においても公民館としての機能を維持できる計画とし、災害時に拠点となるよう機能や設備を充実させます。

5 子どもを育み、地域を育む施設

- ・これからを担う子どもたち及びその親たちが安心して利用できる施設とします。
- ・村岡の地域力を育むことができるような施設とします。

《基本方針のたたき台（案）に対する主なご意見》

- 諸団体や町内会の方が集まって作業や情報交換が出来るといった、拠点づくりの意味合いも込めてもらいたい。
- 基本方針に定められている事項がハード整備によって生まれる効果なのか、ソフトの仕組みを変えることにより生まれる効果なのかが読み取れない。一目で意味が見て取れる文章にしてほしい。
- 基本方針の中で、住民が困ったときに相談が出来る、頼れる施設だという意味合いが含まれていてもよい。安全・安心といった考えが重要となってくる。
- 基本方針における学ぶ機会を提供できる施設という文言に関して、子どもが行う学習と、大人の学習は異なるので、その違いも理解した中で大人の学習も基本方針に含むのであれば、わかりやすい表現にしてもらいたい。
- 広報に関して、住民がどんどん情報発信していけるような仕組みについても検討してもらいたい。
- 将来的に村岡地区には高齢者福祉施設や老人福祉センター機能を含めて整備してほしいという意見や、高齢者が様々な活動にチャレンジできる場を設けてほしいといった意見が出たはずであるが基本方針に組み込まれていないように感じる。
- 基本理念の中にも「村岡」という文言を組み込んだ上で特徴を捉えることができればと思う。
- 基本理念は建設後もその考え方が継続されるものだとすると、長い目で見ても重要だと思える事柄を大きく記載してもらいたい。
- 防災や長寿命化といったことを踏まえた上、あらゆる人々が気軽に立ち寄れることができる、災害時にも頼りになるといった意味合いを強調してほしい。
- 基本方針を今の段階で確定させる必要はないと考える。これから中学生のワークショップやアンケートもあるため、これからも内容の修正は行っていくことになる。方向性はこれでよいと思う。

建設検討委員会では、これらのご意見のほか、今後の議論をもとに検討を進めます。

【問い合わせ先】 藤沢市役所 村岡公民館 電話 23-0634

※村岡公民館建設検討委員会は、公開で開催しています。

※傍聴をご希望の方は、事前申込みとなっております。